

モニタリング結果報告書

施設 厚木精華園

指定管理者 社会福祉法人かながわ共同会

施設所管課 神奈川県保健福祉局障害福祉サービス課

(平成22年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月10日		月報により利用状況、職員配置状況を確認。
5月	6月9日		
6月	7月9日		
7月	8月6日		
8月	9月7日		
9月	10月8日		

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

- 中高齢知的障害者に対する医療的ケアの充実
- 地域生活への移行の推進

<実施状況>

1 高齢化による嚥下の著しい機能低下が見られる現状の中で、職員のより一層のスキルアップを図るため、重症心身障害児施設での研修に職員を派遣した。その他利用者の健康状態を勘案して、AEDを各フロアに設置し、緊急時の対応訓練を各部署において行った。また今まで以上に医療的ケアを必要とする利用者が顕在化し、病院との連携の中、療養型の病院への移行を図った。

2 中高齢の知的障害者支援を中心に行ってきた厚木精華園では、高齢者であっても本人が地域での生活を望むのであれば、それを実現できるように支援をしてきた。平成9年度からグループホーム(現ケアホーム・グループホーム)の運営を開始し、今年度当初は40名がすでに地域生活を行っていたが、さらに5月には4名の利用者が地域生活に移行し合計で44名になった。

今年度より体験利用の居室が設置され、今後の地域生活移行に向けて、宿泊体験を実施した。

今後も継続して、利用者の地域生活移行を実現できるように努めて行く。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額	
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入			
年間予算額	705,160	251,620	432,061	21,479	684,313	20,847
上半期計 (a)	361,411	125,172	222,145 (202,847)	14,094	319,438	41,973
下半期計 (b)						
4月	56,037	18,578	36,005 (35,866)	1,454	46,130	9,907
5月	59,951	18,578	34,925 (32,827)	6,448	48,604	11,347
6月	76,973	32,282	43,030 (35,724)	1,661	80,077	△3,104
7月	55,221	18,578	35,114 (34,686)	1,529	49,301	5,920
8月	58,043	18,578	37,792 (31,757)	1,673	45,175	12,868
9月	55,186	18,578	35,279 (31,987)	1,329	50,151	5,035
合計 (a+b)	361,411	125,172	222,145	14,094	319,438	41,973

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

- ・当初予定されている積立金の執行が上半期は実施されてないため、収支差額が増になっている。
- ・6月は、ボーナスの支払いや2ヶ月に1回の支払い等が重なり収支差額はマイナスとなっている。

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首) 6,000
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	589 人	635 人	△7.2%
下半期計 (b)	人	人	%
4月	103 人	110 人	△6.4%
5月	96 人	110 人	△12.7%
6月	96 人	105 人	△8.6%
7月	98 人	104 人	△5.8%
8月	98 人	103 人	△4.9%
9月	98 人	103 人	△4.9%
合計(a+b)	589 人	635 人	△7.2%

利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

〔 4月～5月にかけて、他施設への異動も含めて5名の方が亡くなった事、また5月に新たにケアホームが設置され、そちらへ移行した等により前年比が減少となっている。 〕

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
5月	1					1
月						
月						
月						
月						
月						

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
月			
月			
月			
月			
月			
月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・特になし ・	
職員対応	・通院などの報告は、口頭ではなく書面にてしてほしい ・	すぐに謝罪をし、改めて書面にて報告する。
事業内容	・特になし ・	
その他	・特になし ・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
	重大な事故等は発生せず

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日	実施せず		
月 日			

9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者

今年度上半期は、掲げていた目標が概ね達成でき、安定した事業を実施することができた。

4月～5月にかけて入院加療中だった利用者が、男女2名ずつ計4名の方が続けて病気により亡くなったり、男性利用者1名が療養型の病院に移行したり等あったが、厚木精華園が行った支援内容について、家族からは感謝の意を表される言葉を頂き、今後も中高齢の知的障害者支援をさらに充実させていくことへの励みになった。

施設所管課

利用者の高齢化や身体機能低下に対する取り組みを積極的に行い、地域生活移行の可能性の模索や、本人のペースを尊重した支援の提供など、中高齢知的障害者に対する支援の質を高めており非常に評価できる。

利用者の体調急変等に素早く対応できるよう、リスク管理の充実、中高齢知的障害者の安定した地域生活を支える支援の実践とともに、支援技術の研修、講師として研修会に協力するなど、地域福祉の中核的な役割を引き続き果たしてほしい。